

平成28年度第2回魚沼市男女共同参画推進委員会 会議録

日 時	平成29年3月23日(木) 13時30分～15時00分
場 所	小出庁舎2階 201会議室
出席者	【委 員】 石川伊織、金子富美子、貝瀬直子、瀬下利香、富永洋介 山本英二 (欠席：齋木富美子) 【庁内推進委員会委員】 坂大 昇、和田 純恵、阿達 文子、遠藤 まなみ、 五十嵐 雅子、山田 洋樹、小幡 めぐみ、上重 綾子、 浅井 由香 (欠席：戸田 千穂子、小島 明子、浅井 宏 一) 【事務局】 企画政策課企画政策室 森山課長、桑原室長、小島係長、浅井主任

(会議の要旨)

1 開 会 (13:30)

2 企画政策課長あいさつ

年度末のお忙しい中、お集まりいただきまして大変ありがとうございます。この推進委員会につきましては、昨年12月12日に第1回を開催しまして、皆様から沢山のご意見をいただきましたが、事務局の資料の作りこみ不足や、不手際等があり、開催が先に伸びてしまい、大変ご迷惑をおかけしたところでございます。今回、委員の皆様からご意見やご指摘をいただきました部分について、庁内で修正作業を経まして、今回第2回の委員会を開催させていただいたところでございます。また、本日は、庁内推進委員の職員も出席しておりますので、会議の中で不明な点につきましては、ご質問いただければと考えています。スムーズな中にも慎重な審議をしていただきまして、この会議を進めていただくことをお願いしたいと思います。本日はよろしく申し上げます。

3 議事

(1) 第1回魚沼市男女共同参画推進委員会での質問等に対する回答について (資料1)

資料No.1に沿って説明 (事務局)

(会 長) 資料1について、質問がありましたらお願いします。

(委員) 資料1の4ページの20番、これはどんな本を贈呈しているのか、選んだ本が、男女共同参画に関係しているものでないといけないのですが、例えばこれを対象者の方に好きな本を選んでいただいたときに、うちは男の子だから乗り物、女の子だからおいしいな、と選ばれると主旨に反する。これは相手に選んでもらうのではなく、単に絵本を普及するならそれでよいでしょうけれども、幼児期からの性別役割分業に対し、子供達相手に何らかの啓発をするならば、好きな本を選ぶのはまずい。そういうことも含めてこの質問をしたのですが、このブックスタート事業をどうやっていくのか、お話を聞かせたい。

(事務局) このブックスタート事業は、お子さんが生まれたご家庭に対して、本をお配りしています。生まれたばかりの子どもに対して男女共同参画を意識づけるのではなく、お父さんから本の読み聞かせに入っただき、子育てに参加していただく主旨でお配りをしているもので、そのようにとらえていただきたいと思います。

(委員) だとすると、このブックスタート事業は男女共同参画とは関係がないということになります。ブックスタート事業をやっているから、男女共同参画をやっていると考えられると、かえって逆効果になっている可能性もある。お父さんに育児に参加してもらうことは重要だけれども、そこでどんなテキストをどう読むかがとても重要です。それも含めて啓発や行動をやっていかないと、この事業をやればやるほどこの計画に反していることもおきかねない。

(事務局) ご指摘をいただきました部分を、再度噛み砕きまして、主旨とここに載せることが適当かどうか、再度判断させていただきたいと思います。

(委員) 17ページの55番、「魚沼市職員のハラスメント防止に関する規定」は策定しただけですか。規則を作ると、例えばハラスメントの訴えがあった場合に、それをどのように処理をして、どういう法的措置をとるのか、双方の意見を聞くために、どういう風に代理人を選ぶか、そういうのも含めてかなり試行錯誤、大掛かりな組織作りが必要です。これは例えば県立大学の場合ですと、短大の時代からすでに人権委員会があったけれども、そこでどのように学生や教職員からハラスメントの訴えを取り上げて、そこでどのような委員会で、どのように審議して、訴えた人間にも、訴えられた人間にも、人権に配慮しつつ、適切な学校運営をするために、かなりいろんな試みをやりました。委員会を作って15年以上も経ちますが、まだ手探り状態でやっています。最初に似たような規則を作ったとき、想定しなかったような様々法的手続き等をやっています。それを考えると、苦情相談員の設置と総務課長が事実確認をするとかだけだと、これはおそらく機能しないと思います。昇進とか自分の不利益

になることは訴えないと思いますから、その問題を解消するような組織、仕組み、ルールを整備しないとイケない。これだけだと非常に弱い。今後とも検討を重ねていただきたいと思います。

(事務局) 今のご意見を踏まえまして、また内部で検討したいと思います。

(2) 第2次魚沼市男女共同参画推進計画 検証結果報告書(案)について(資料2)

資料No.2 に沿って説明 (事務局)

(委員) 注釈のクォータールールに関する記述が間違っている。クォーターは4分の1ではなく、割り当てるというクォートからきている単語で、4分の1という数字は誤解です。ある特定の数値の人員を割り当てるという意味で、4分の1は誤解です。修正をお願いします。

(事務局) あとで修正させていただきます。

(会長) だいぶ男女別人数や参加者数等、数値が出たことで、魚沼市の現状が見えてきた部分があるなという感じがしますが、何か質問やご意見がありましたらお願いします。

(委員) 50 ページですが、農業等に関わる女性の活動支援で、食文化フォーラムの活動支援の成果の中で、「平成 27 年度の参加者が少なかった理由は、例年より団体での申し込みが少なかったためと思われます。」とありますが、どのような団体の参加が多いのでしょうか。今後の課題に「若い世代の参加者を増やすため、招待枠を設ける等方法を検討していく必要がある」と書かれてありますが、わりと参加されるメンバーはだいたい同じと聞いていますが、その点のことも含めて若い世代の参加を増やす為に、どのような方法で、このイベントに対する思いとかもあると思いますが、今後どのようにつなげていくのか教えていただきたい。また若い世代につながれば、変わってくると感じました。

(事務局) 以前から食文化フォーラムは実施していましたが、今までは単体での実施でしたが、郷土料理というに限られたジャンルになり、それを知っている世代の方だけが集まってきたところがありましたが、平成 27 年度から魚沼市においては食でつながる元気なまちづくり事業を始めました。今年度から本格的に実施しています。農協さんをはじめ、いろいろな関係機関と連携しながら大掛かりにやっっていこうという初年度の年になります。その流れの中に、このイベントも取り入れていこうという動きが今出ています。その中で関係機関の皆様方が実行委員会を通して、いろいろな意見や知恵を頂きながらイベントを充実させていこうという考え方で進めていて、それを平成 29 年度以降に汲み上げていくという、今過渡期という状況です。今後はその大きな流れの中で、新た

な試みがそこにでてくるということを含んでいます。

(委員) 感想ですけれども、なかなか数字だけでは成果が表せないところも、文字で書いていただきまして、非常にわかりやすくなったと思います。

(委員) この会議をすることで、いろいろ意見をいただいて、皆さん各庁舎で取り組んでいただいて、ここまで出せるのではないかと感じました。最初の頃は本当に何をやっているかわからない、やっている方もどういう意図なのかを完全に理解しているとは思いがたい様子だったので、取り組み次第で変わるものだなと思います。

(委員) おっしゃるとおり正確な数字を出していただいて、また調査していなかった数値がありましたけれども、結局成果を数字で示していかないと、わからないので、これからこういう形で、やった結果について数字で検証していく、それだけのデータをとっていただくことをそれぞれの部署で、心がけていただければ、次回の改定に向けて、ちゃんとした数値が積み重なっていき、もっとわかりやすくなると思いますので、よろしくをお願いします。

(会長) それでは、提案と修正のありました、第2次魚沼市男女共同参画推進計画 検証結果報告書(案)について、その他ご質問がなければ、承認される方は拍手をお願いします。

(全員) 拍手

(会長) それでは承認とします。

(3) 第3魚沼市男女共同参画推進計画 実施計画(案)について (資料3)

資料No.3 に沿って説明 (事務局)

(会長) この件につきまして、質問等ありましたらお願いします。

(委員) 例えば3ページの「市の広報・刊行物における表現の配慮」について、目標値を「設定しない」というのは、これは日常的に点検をする必要があるから、目標値を設定して何件という話ではないよという意味だと思います。ところが、18ページの「市民相談事業」では適切な指標が見当たらないから設定しないという説明があったと思います。そうすると3ページの表現は同じだけど、意味が違う。そこが心配だと感じました。3ページですと市役所の日常業務でやることでしょうから、実績値や目標値を書くことはなじまないことはわかります。ただ例えば5ページの「人権研修会の開催」では平成30年以降がハイフンになっているのは、これが平成29年度までの文部科学省の委託事業であるから、これで切れるという意味に読めますよね。そうするとこのハイフンの意味が文部科学省の事業が終わるからありませんとすると、先ほどのハイフンと意

味が違う。わかりやすく説明する必要があると思います。この場合、人権研修会を開催する話ですから、平成 29 年度までは、予算がついてますからやります、平成 30 年度以降については、この予算枠ではやらないというのは、市役所の予算の使い方からするとよく理解できるけれども、この人権研修会は平成 30 年以降はどういう予算配分で、どういうところから資金を集めて開催するのか、あるいは開催しないのか、というのがこれだと読めない、という心配をしています。また、24 ページの妊産婦医療費助成事業、不妊治療費助成事業について、セクハラの相談などもそうですが、こういう事業をやっているという周知が進むと、申請件数などが増えてくるという傾向があります。そういう場合に相談件数は、増えた方がいいのか、減った方がいいのかいつも思いますが、そういう場合にこの妊産婦医療費助成事業について、助成件数は減った方がいいのですか。

(事務局) 今の件につきまして、先にお答えさせていただきますが、当然健康であればそれが一番であると思いますので、医療費がかからなくて済む、そういった目標設定の考え方であります。今目標値についてハイフンが入っていますが、担当者が先生の意図まで汲み取って設定できなかった部分もありますので、平成 28 年度実施計画もあと 1 週間でありますけれども、平成 29 年度の実施計画から指標の設定の修正をさせていただければと考えています。

(委員) 目標数値を達成したらそのあとどうするか。

(事務局) 目標については、他の計画もそうでありますけれども、新たな目標を設定することになりますので、更なる目指すところを見据えた中で、設定し直すということになろうかと思えます。

(委員) 毎年、達成状況を見ながら、目標数値を修正することも考えているということでしょうか。

(事務局) 今回お示ししたのは、平成 28 年度の実施計画でありますので、毎年それぞれの年度ごとに、実施計画を策定させていければと考えています。

(会長) 本日資料を見て、気がついたことなどはありますか。

(委員) 具体的に書かれているので、いいと思います。

(委員) 19 ページの「施策の方針 1 農林業・商工業等自営業における女性の参画促進」の指標に、「農村地域生活アドバイザー数」の指標がありますが、平成 27 年度と平成 32 年度の数値が同じになっていますが、その理由は。

(事務局) 昨今の人口動態を見ますと、人口減少の傾向は全国的な傾向でもありませんけれども、現状ではこれから先確保も大変になっているところから、なんとかそれを維持したいという部分での目標であります。

- (委員) 確かにアドバイザーの方が増えていないということは聞いていますが、アドバイザーの方の年代が高齢になって退任されて、新しい方の確保も難しいと思いますが、アドバイザーの制度自体も考えているということも聞いてはいますが、その点も含めてこれから考えるということでしょうか。
- (事務局) 今伺った部分については、あり方も含め、内部で協議した中で、平成 29 年度以降の実施計画で表したいと考えています。
- (委員) 今までは今までとして、将来的に考えたときに修正が必要になることも仕方ないと思いますが、そういうことも含めて考えていただければと思います。
- (事務局) 農業という分野においては、なくてはならない分野でもありますので、農協さんでは、次世代育成の担当もあると思いますので、そういうところとの連携も重要かと思っておりますので、庁内だけでなく、いろいろなところと連携した中で、また県の制度だけでなく、魚沼市の独自の制度も考えていくことも課題かと考えています。
- (委員) 数値を出すことは、人口構成が一定ないしは、人口増大傾向にあるところで数値を出すことは、それなりに意味があると思っておりますけれども、今の話を聞くと、人口千人当たり何人という表現方法にこれから改めていく方法と、そういう中でも、実人数を増やしていくということに意味のあるという書き方にするならば、そちらには特に力を入れているという姿勢表明でもありますからよろしいかと思っております。
- (会長) 私から大雑把の話になりますが、庁内委員に意見を返したり、事務局の中で意見を取りまとめたりする中で、この資料を見ながらはっきりしてきたなと感じていますが、今後事業をやるにあたって、男女共同参画の視点に立って、事業をすることが大事だなと改めて感じましたが、職員の意識の変化を事務局として、どうとらえているか、この数ヶ月間の作業の中でどう変わったか、事務局に伺います。
- (事務局) 事務局の感想ですけれども、今回の会議を通じて、やはり男女共同参画についても意識してしなければならないと感じましたし、やはり何もしなければ話は進まないと思っておりますし、今までよりは進んでいるのではないかと感じています。
- (会長) それでは、意見等がないようであれば、提案のありました、第 2 次魚沼市男女共同参画推進計画 平成 28 年度実施計画(案)について、承認される方は拍手をお願いします。
- (全員) 拍手
- (会長) それでは承認とします。

4 今後の日程について (資料4)
資料No.4 に沿って説明 (事務局)

5 その他
特になし

6 閉 会 (15:00)